四

一体社會さいふものを觀念づける点で、還元を踏みはづさない吾れ等の考察として、その民族の特殊たる家族觀念を正當に了解するほど、確實で有効な道はわれ等にないのである。今の日本はアメリカ流の自由戀愛說のうへに、社會主義の合理說を眞はされて、社會を眞實に考察するに必要な、その標準物を缺いてゐる。だが社會はまさに家族の大なるものである。そして正常なる家族生活があつて正常な社會生活が批評される。明白に言つて吾れ等に合宜な社會觀念の雛形を、現在與へ得る現實のものは、この日本では限られたる唯だ一つの世界しかない。それは「彼の顧に汗してパンを得」ることを當然の勤めとし、しかも吾々日本人特殊の社會的習慣に、風俗に、道徳的に、また制度に、着實に維持と發展とを行つてゐるところの、中流階級の家族である。中流階級を在來の定義のやうに、財産の高低や、收入の多寡などをもつて區別するのは、經濟主義に囚はれた學者のする偏見である。それは既成社會の文明を繼承してゐることで、これを創れてゐる下層階級と相違し、また社會に特殊づけられてゐず、勞役して生計を樹てゐる点で、上層階級と相違してゐる。この繼承と勞役との二つの特質中、前のものは既成社會が與へた恩惠でもあるがだめには、下層社會のやうに心持が偏狹になつて、既成文明を足蹴にする反逆心を持たず、また後のものが文明の高い値を自覺させるために、特權に慣らされた上層階級が公正な心を眩らして、無代價な文明を濫費するといふ事もない。然たこゝには創がれもせず、また甘やかされもしない社會一切の文明的成形体が、その家族生活のうへに維持され、發展されてゆく事情を持つ。こゝから出生した家族觀念が、すなはち現實のうへで可能なる、社會觀念となつて正しく反映する。その昔トルストイによつてわたしの示唆された、社會觀念の究極のものはこの階級にまさしく存在してゐるのである。社會事件說、社會連帶說、また傳統もこの階級に接觸して、はじめて明白な輝說される。

五

社會の構成は家族の構成を要件づけるところの、あらゆる條件をもつて現實的基礎させねばならない。家族的關係が經濟的關係でないやうに、社會的關係も經濟的關係であつてはならない。當然社會の上層と下層とに、社會をわがものの顧の自儘な、仍はち別言すれば社會觀念を無識しない特殊階級の墮落者と、社會に對して怨みさを持つ、すなはち別言すれば社會觀念を意識したくても、意識するを得ないドン底に突きおされた、下層階級の墮落者とが、われ等の社會に存在するといふことは、われ等の社會觀念の破壞でもあるのだから、この社會上の惡化狀態は、その仰もの根本原因にまで溯つて取り除かれねばならないのである。

（今日の緩論は眞然たる社會問題は、政治的並びに道德的解決にのみ限局さるべきものである。社會主義の敎理に立つは不可。）その處理の精神はあくまでも社會觀念の殿だる存在のもとに、言はゞ社會の公衆の結合觀念に不安や、動搖を來たさない原則精神のもとに、實行されねばならない。社會の家族化はこの觀念、この精神のかういふ維持、かういふ發展によつて、個人の上に正當に明白に出現される。しかるに社會上下のこの惡化の傾向に對し、均整運動の車の中軸となるものは家族生活に於て、すでに社會生活の本質を具象してゐる中流階級である。その社會の習慣、風俗、道德、制度の鍵を握る中流階級である。彼れ等、下層階級の敗頽を制する一方に社會の平均運動の活動の中樞体であるからである。わたしのブルヂョア擁護論もこゝから出て來た。歷史科學の上であきらかに打消されてゐるところの、マルクスの唯物史觀が先入思想になつてゐる人は、この中流階級の人間生活の全部面に接觸したる活動を、兎角經濟的にばかり考へたがるが、人間社會の全運動はそこにはない。それぞれ特色を異にする社會觀念の鮮明なる發揚のもとに、個性的活動を逞くした世界各民族の、社會的文明の合宜な發展があつたばかりである。中流階級はまさにこの發展の實質を、漠然たる國民の名のもとに文明史上で掲つてゐるのである。

甲府の劇場で不穩文を撒く

東京から來た青年數名の所爲らしい

三十一日午後九時頃甲府市春日町及び三日町附近の鹽塩又は活常設館で膳寫版刷の過激思想宣傳文を無數に撒布したものがある犯人は何れも二十五六歲前後の男子數名で其進退動作頗る敏捷を極め急人風の者も加はり居り多分同夜七時五十五分甲府着列車で東京方面から入り込んだものらしいと甲府署では明瞭いて其行方嚴探中（甲府電話）

昨夜演說會で十數名檢束さる

社會主義者と聽衆

解散命令で警官と小競合

一日午後七時半神田美土代町青年會館に於て堺利彥、高津正道、其他數名の社會主義者を辯士として開會不干涉、シベリア撤兵の演說會が開かれ下中彌三郎氏が開會の辭を述べつゝあつた七時半臨席の増田錦一郎署長は突如治安妨害の嫌疑で解散を命じたので聽衆は騒然となり其結果警官と小競合となり其結果警官と數名の社會主義者と聽衆五百名中より十數名が檢束された

（活動常設館で不穩ビラを撒く）

甲府市活動常設館、富士館及び甲府館で卅一日夜特等席より膳寫版刷の過激宣傳ビラ數百枚を撒布した者あり甲府署にては直に活動を開始した（甲府來電）

禁止出版物密賣の緣日書店を

片つ端から檢擧した

昨夜各區に亘り警視廳の大活動

禁止出版物の密賣者に對し、警視廳は、二百餘名を挑發する外、密賣者を各所に檢擧に就き取調中である、尙ほ二日も引續き東方面に關係が出來る筈になつて居り、藝等は何れも

口を開いて直ちに解散を命ぜらる

昨夜の對露問題演說會遂に檢束者多數を出す

對露非干涉同志會の對露問題演說會は、一日夜神田青年會館で開會、辯士の綱島毅、堺利彥、島中雄三氏等は聽を見せたが

書入

辯士の中野正剛、川崎克氏等が熱を見せず、遂に七時十五分に開會、野口島中氏が壇に起つて一言二言述べかけると、警官の增田錦一郎署長が直に辯士中止、次で解散を命じ多數の巡査がさあ出たくと、一時騒然となり、會場外に押出さうとする、群集を場外に押出さうとする、群衆は

檢束

壇上に上り、演說を聽上げかゝると、不穩を唱つた警官は寄つてたかつて演壇から引ずり下ろす、續いて堺氏の對露問題が其の續りを讀上げにかゝると、警官は怒り頭を擡げ、擽みにして引ずり下ろす、會場中には騒然として警官横暴を叫ぶ者もあり、會場内や出口で反抗して

された者十二名に及んだ、此日の增田署長の遣口は實に執拗を極め、少しでも反抗した者は多數警官から殴られ突倒され、或者は靴を落したからと云ふのも構はず檢束して行つた

共產主義影を潛む

勞農露國最近の事情

確かな筋の情報によると勞農露國最近の事情は左の如くである

△農產の豐作　農產の豐作であるが、牛馬その他の家畜類の不足肥料及農具の欠乏等のために耕作されたる土地は年の四分の一に

△主たる財源　旧帝政時代の公共財産及び寺院等の沒收したものに仰いでゐるがその財政は

△共產主義的組織　ある昨年來の資本主義的新經濟政策の採用もこれ等國内的事情の制

△共產主義の影を潛めて居るまた勞農政府は今なほ其の

△共產主義の影を潛めて居るまた勞農政府は今なほ其の

詐欺を働いた主義者捕はる

（大阪南區水崎町本間方）は最近自分等の組織して居る人同盟の名を利用し諸所に詐欺を働いたことを探知し取押へんとして

（大阪電話）